



宴会場「延養の間」をパーティションにより祭壇・献花エリア(写真右奥)と会食エリアに分割



祭壇には中央の遺影に加え、いのうえ側からの提案により、下段左には東京大学を目指して受験勉強をしていた頃の写真を、右には家族の絆を大切にしていたことから、家族の集合写真を掲げた



祭壇・献花台前に動線として花飾りを設置(グラジオラス、シベリア、トルコギキョウ、レザーファン)

【祭壇データ】
 ●祭壇サイズ
 間口10.8×高さ3.5×奥行3.5m
 ●使用花材
 スプレーマム4,400本、小ギク1,200本、
 レザーファン650本、リンドウ600本、シベ
 リア80本、コチョウラン55本
 ●制作時間
 4人で11時間
 ●遺影サイズ
 幅114×高さ158cm

故人ゆかりのホテルで 式典・進行なしの偲ぶ会

故 武田鐵也「お別れの会」

武田鑄造の代表取締役会長を務めていた武田鐵也氏が09年7月15日に死去、8月22日に岡山プラザホテルにおいてお別れ会が開かれた。

同社は岡山・倉敷を本拠に、商業機械等の部品を製造する。故人は1927(昭和2)年岡山県倉敷市に生まれ、東京大学卒業後、半世紀以上にわたって同社の事業拡大に邁進した。また、倉敷青年会議所理事長を皮切りに、以後、倉敷南ロータリークラブ会長・理事、岡山県鑄造工業協同組合理事長、国際ロータリー第2690地区ガバナー(管理役員)などの要職を歴任し、地域貢献・社会奉仕にも尽力した。

会場となった岡山プラザホテルは、故人が国際ロータリー第2690地区ガバナーとして、さまざ

まな会合に利用したホテルであったことから選ばれた。

5階の延養の間(746㎡)をパーティションにより祭壇・献花エリアと会食エリアに分割。施行・祭壇設営はいのうえが担当し、白のスプレーマム、小ギク5,600本を使い故人の温厚で清廉潔白な人柄を表現した。また、会食会場においては、故人の思い出の写真50枚をパネルにして展示した。

参加者は時間内に自由に来場し、献花、会食をしながら故人を偲ぶスタイルで、式次第はもちろん、司会による進行がないことから、参加者のスムーズな誘導・案内に留意しながら、いのうえ側15人、ホテル側30人が運営にあたった。

故人の思い出の写真が展示された会食会場



ホテル1階のエントランス脇に設置した幅2.7×高さ1.2mの門標

